

地籍問題研究会

第22回定例研究会のお知らせ

地籍問題研究会では、このたび、第22回定例研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。

■ **日時** 平成30年7月21日(土)13:00～

■ **会場** ひめぎんホール 多目的室(愛媛県・松山市)

■ **テーマ** 明治以降の土地制度から学ぶ登記所備付地図、建物所在図の有用性と必要性～愛媛からの発信～

協力:愛媛県土地家屋調査士会、(公社)愛媛県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、日本土地家屋調査士会連合会

■ 12:30-13:00 受付

■ 13:00-17:10 地籍問題研究会・第22回定例研究会

13:00-13:10 挨拶及び趣旨説明

岡田潤一郎氏(日本土地家屋調査士会連合会会長)

講演

13:10-14:00 「地券・地租と奥書割印制度について」

報告者 藤原勇喜氏(当研究会監事)

14:00-14:50 「墓地の現状と土地法制について」

報告者 竹内康博氏(愛媛大学法文学部人文社会学科教授)

(休憩)

15:00-15:30 「地籍調査を効果的に利用した都市計画について」

報告者 中矢博司氏(松山市都市整備部交通戦略推進官)

15:30-15:50 「今後の法務局の地籍調査への協力について」

報告者 江口幹太氏(法務省民事局民事第二課地図企画官)

(休憩)

報告

16:00-17:00 「法14条地図作成事業等の活動報告」

公益社団法人愛媛県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

(16:00-16:20) 「道後地区14条地図作成事業の経済的成果」

(16:20-16:40) 「建物所在図作成作業の成果と提言」

(16:40-17:00) 「山間部地籍調査作業の報告と諸問題」

17:00-17:10 質疑応答等

◆傍聴について◆

本研究会につきましては、一般傍聴は資料代を含めて3,000円をいただきます。